

特色と活力ある学校づくり 佐志小学校

「心身ともにたくましい」

子どもの育成をめざして

佐志小学校では、生涯教育の視点にたち、「知」「徳」「体」のバランスのとれた「生きる力」を身に付けさせていくために、児童と職員、そして、地域の方々が連携した教育コミュニケーション作りを目指しています。その取り組みの一端をご紹介します。

◆地域と連携した教育の推進

＜地域の学習支援者との連携＞

「食」への関心と感謝の気持ちを育むために、サツマイモ・米・そばを栽培し収穫の苦労と喜びを十分味わっています。学習の過程では、公民館長さん、児童のおじいさん・おばあさんに支えていただいています。田の提供、堆肥の提供、もみの選別から田植え、稲刈り、脱穀に至るまでの指導、もちつき・そば打ちなどの指導など、地域の支援があつてはじめて成り立つ学習です。

このほかにも、毎年、延べ70人を越える皆さんに、実際に関わっていただいています。

＜佐志きらめきの会との連携＞

佐志きらめきの会は、学校完全週5日制の実施を機に、3年前に親父

の会として発足しました。現在、会

員は、保護者・地域住民・PTAのOB・教職員など41人です。土ようクラブの運営や学校教育支援を目的に活動しています。特に、「佐志土ようクラブ」は、あくまき作りや川遊び、しめなわ作りなど、親子で楽しめる活動を企画し運営しています。

＜ニュー女性部との連携＞

年に2回のレクリエーション活動のほか、食生活改善推進委員の方との連携で、釜での炊飯活動、豆腐ハンバーグ作りなど活動の幅が広がってきています。大人の方に小学生の頃の遊びも紹介していただき、一緒に体験しました。



女性部の方とおはじき遊び

◆豊かな人間性と

健康な体作りの推進

＜ボランテア活動の推進＞

佐志小学校では、毎朝、始業前にボランテア活動を行っています。児童会で活動場所を決めて校内の清掃をしています。起床時刻が早かったり寒さに負けそうになったりと多くの困難にチャレンジしながら、自分の学校は自分の手できれいにと頑張っています。

また、空き缶回収リサイクル活動も5年目を迎えています。これらの活動を通して、人と環境にやさしい心を持つ社会人に成長して欲しいと願っています。

＜健康な歯づくりの推進＞

体の健康は、健康な歯からといわれますが、佐志小学校では、日常の歯磨き指導に加え、校医と連携し、毎週1回、フッ素による歯科指導を実施しています。全校児童66人のうち半数以上の37人が健全歯（一度も虫歯を作ったことがない）です。

「食」に関心を持ち、自分の健康について考えようとする態度を育てていく活動を今後も推進していきま

年金係から

◆国民年金保険料の領収書は大切に保管
国民年金保険料は、所得税の確定申告や住民税の申告をするときに「社会保険料控除」の対象になります。

平成14年度から、国民年金保険料の収納義務が市町村から国へ移管したことにとない、役場で保険料の納付証明書を発行することができなくなりました。

保険料の領収書や振替口座の通帳などで平成16年中に支払った額を計算し、申告されるようお願いいたします。

◆『年金週間』

11月6日から12日までは、『年金週間』です。

「年金週間」は、国民一人ひとりが年金を身近で大切なものとして考え、公的年金の意義や役割を正しく理解していただくために設けられています。

なお、「年金週間」の期間中、川内社会保険事務所で『年金相談所』が開設されます。

質問や相談などがありましたら、この機会をご利用ください。

相談時間は、午前9時30分から午後7時までです。

※11月6日・7日は午後4時まで

○お問い合わせ先

川内社会保険事務所 ☎225276